

うれしの掲示板

加東キャンパスに「ラーニングコモンズ」を開設

今年度、加東キャンパスの各エリア・施設を機能別にゾーニングし、学生の協同的かつ自主的、主体的な学びを促進する「ラーニングコモンズ（学習者が集う共有のスペース）」を整備した。昨年4月、総合研究棟の教職キャリア開発センターとオープンセミナールームに始まり、10月には附属図書館にPAO（ライブラリーラーニングコモンズ）とグループラボ1～3、大学会館にアクティブラーニングスタジオとマイクロティーチングスタジオ1・2を開設した。

教職キャリア開発センターは従来の就職支援関係の機能に加え、グループ学習のスペースを拡充し、模擬面接の指導などに使える2つの個別ブースも設けた。大学会館の3部屋には電子黒板を設置し、うち2部屋は小学校の教室をイメージした内装で、学生が学校現場の雰囲気を感じながら学べる環境とした。また、教職やキャリア支援関係の講座、教員やティーチングアシスタント、学生間のピアサポートなども計画している。

今年4月には、大学会館にボランティアステーションを新設。ボランティア活動に関する情報提供などを通して、学生の自主的な学びを支援していく。

↓アクティブラーニングスタジオでの授業



↓PAO（ライブラリーラーニングコモンズ）



↑教職キャリア開発センター



↑マイクロティーチングスタジオ1

博士課程の松本榮次さんが「コンピュータ教育実践アイデア賞」で文部科学大臣賞を受賞

昨年12月、松本榮次さん（連合大学院（博士課程）教科教育実践学専攻3年）が「第15回（平成24年度）コンピュータ教育実践アイデア賞」で、文部科学大臣賞を受賞した。同賞は、一般社団法人日本教育工学振興会が昨年3月発行の『「実践事例アイデア集2012」Vol.20（小学校・特別支援学校編）』に掲載された60の実践事例の中から決定したもの。松本さんの実践事例「冬の夜空を観察しよう」（小学校4年理科）は、天体観測ができない昼間の授業中に、地球の裏側にある星座カメラやインターネット望遠鏡を児童が遠隔操作して、リアルタイムに天体観測を行うもので、ICTの特性を活用した優れた実践事例と評価された。



↓下村さん（右手前）はクラリネットを担当する



「福祉施設や幼稚園などに
出向いたりしており、下村
さんや金田さんが部の中
心になってからはJR加
古川駅前でのミニコンサ
ートの充実にも力を入れる
ようになった。8月の全日
本吹奏楽コンクール兵庫
県大会後、毎月1回、年
度末の定期演奏会のPR
を兼ねて開いているもの
が、以前は部員が集まりに
くいのが悩みの種だった。

「週末の練習日にミニコ
ンサートをすることで、部
員全員が集まりやすくな
りました」と下村さん。メ
ンバーがそろえば当然、演
奏のクオリティーは向上
する。「足を止めて聞いて
くださる人が確実に増え
ました。私たちの演奏で
地域の方々が笑顔にな
ると、やりがいを感じます。
定期演奏会にもたくさん
の人に来ていただきたい
ですね」と金田さんが言葉
を継ぐ。

今年度の定期演奏会は
3月9日、加古川市民会
館で開催する（詳しくは
16ページ参照）。



↑加古川駅前でのミニコンサート。聞き入る人も多い

兵教大吹奏楽部 in 小野・加東住民大会

うれしの
交差点

兵庫教育大学と地域の交流ページ

↓ラストナンバーは吹奏楽の定番「宝島」

↓約450人の観客を前に全4曲、25分のステージを披露した



地域での活動を重ね
定期演奏会に向けてレベルアップ

「前髪が垂れてくる人はしっかり留めて。パフォーマーとしてだらないよ」。上級生の女子部員の厳しい口調に、控室の空気はびんと張り詰める。本番前まであと15分だ。

昨年11月、兵教大吹奏楽部は加東市滝野文化会館で開かれた「小野・加東住民大会」に出演した。同大会は、安全で住みよいまちづくりの推進を目的に毎年、両市が交互に開催しているもので、地域の区長や交通安全協会、防犯協会など約450人の市民が集まった。「大学のあるまち」という加東の特色を出したかったのと、住民同士が演奏を楽しみながら交流を深めてほしいという思いから出演を依頼しました」と加東市防災課の石田将之さんは話す。

活動団体の表彰式や講演の後、吹奏楽部の部員たちがステージに上がった。指揮者がタクトを振り下ろすと、童謡メドレーの「お

もちゃのチャチャチャ」が始まった。「客席の多くは年配の方と聞いていたので、誰もが耳にしたことがある懐かしい曲を中心に選びました」と部長の下村津久美さん（学校心理系コース3年）。

静かな客席に変化が表れ始めたのが、3曲目の「ジャパニーズ・グラフィティVII」。人気アニメ「銀河鉄道999」と「宇宙戦艦ヤマト」の主題歌のメドレーだ。パワフルで緩急自在の演奏に、多くの人が身を乗り出す。続く、ラストの「宝島」でムードは最高潮に。サンバの軽快なリズムに合わせ、会場には手拍子が鳴り響いた。

終演後、学生指揮の金田彩花さん（幼年教育系コース3年）は「序盤はレスポンスが鈍かったです。最後は盛り上がりすぎて、よかったです」とほっとした表情を浮かべた。

吹奏楽部は日頃から地域のイベントに出演したり、



↑本番前の控室。チューナーを使って首程の最終チェックをする

↑サクスのソロパートを演奏する金田さん